

美術展レポート



12月15日と16日の2日間にわたって開催されました微研美術展には微生物病研究所の教職員、同窓生、家族等微研関係者から40点ほどの応募がありました。



会期中は、大変寒さが厳しかったのにも関わらず、154名ものみなさまにご来場いただき、絵画、シルクスクリーン、写真、陶芸、ステンドガラス、工芸品、生け花他多岐にわたるジャンルの力強い作品を鑑賞していただきました。



今回、初めて書籍を提供いただいた霧村悠康先生は本研究所旧附属病院の腫瘍外科医、小説家で、ご自身の小説の表紙や文中の絵も手掛けられています。また、著書の「女医・倉石祥子シリーズ」はフジテレビ系で放映されています。



最後に今年の干支にちなんで、出展された作品の中より犬の人形をご紹介します。あまりの愛らしさに来場者の方々もにつっこり。

次回第25回美術展は、12月に開催予定ですのでぜひ微生物部病研究所へお越しください。

(文責：同窓会事務局 井村)